

News Release

2015年6月22日

報道資料

東京海上日動火災保険株式会社とテレマティクスサービス事業で協業 ～自動車保険フリート契約^{※1}法人向けにサービスを展開～

パイオニア株式会社(以下「パイオニア」)は、東京海上日動火災保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:永野 毅、以下「東京海上日動」)と、同社が販売する自動車保険向けのテレマティクスサービス事業における協業に関して基本合意書を締結しました。

本協業は、東京海上日動が保有する“事故に関連する各種データ”や“自動車事故対応についてのノウハウ”と、当社が保有する自動車向けクラウド基盤「モバイルテレマティクスセンター」での“ビッグデータ分析・情報配信技術”や、“次世代車載通信端末等のノウハウ”を統合することで、お客様に「さらなる安心と安全」を提供する、新しい自動車保険向けテレマティクスサービスの開発・提供を目的としています。

具体的には、両社の強み・ノウハウを持ち寄り、“安全運転支援機能”や業界初^{※2}となる“自動発報機能”、“運転評価・スコアリング機能”などの開発を進め、当社のLTE通信モジュール搭載「ミラー型テレマティクス端末」とNTTドコモの回線を使用した自動車保険フリート契約法人向けの高度な事故対応サービス・安全運転支援コンサルティングとして、東京海上日動が提供する予定です。

【高度な事故対応サービス・安全運転支援コンサルティングを実現する為の主な機能・技術】

◆事故の未然防止

・車載端末に内蔵したセンサー、カメラなどを利用した車線逸脱/危険運転検知、警告などの機能^{※3}

◆迅速な事故対応

・事故発生時に、事故を感知してその状況をコールセンターへ自動発報する技術

◆安全運転支援コンサルティング

・運転状況のデータをもとに、運転性向を評価して改善指導につなげるスコアリング技術



- ※1 お客様が所有・使用する自動車が10台以上の契約方式。
- ※2 保険会社向けの事故時自動発報機能として業界初(2015年6月22日現在、東京海上日動調べ)。
- ※3 ミラー型テレマティクス端末に標準搭載されている機能。

パイオニアは、2006年にプローブ情報を活用した独自のネットワークシステム「スマートループ」を立ち上げ、業界に先駆けてビッグデータの活用を進めてきました。2013年には自動車向けクラウド基盤「モバイルテレマティクスセンター」を構築し、スマートフォン向けのクラウド型ナビゲーションサービスを開発したほか、車載機器やスマートフォンから得られる膨大なデータの解析処理による高精度なプローブ渋滞情報の提供を開始しています。また、2014年には米国シリコンバレーのトレジャーデータ株式会社と提携し、自動車・交通分野におけるビッグデータ活用のノウハウを蓄積しています。

今後両社は、安全運転や事故防止につながる新しいサービスの開発に努め、お客様に提供していきます。なお、新サービスの内容、提供開始時期などの詳細については、あらためてお知らせいたします。